

研修講座

あらかじめ、
幸せだったらいいな。

幸せ度
いちばん
福井県

会場は変更する場合があります。
必ず実施要項でご確認ください。

No.	講座タイトル	実施日	予定会場	講師	受講のポイント
-----	--------	-----	------	----	---------

授業づくりの力を高めましょう

1	通常の学級における算数につまずきのある子への支援 —子どもたちの「困った!」に応じた 具体的な応援方法を考えよう— 定員100名	7月27日(月)	福井県立 看護専門学校	福岡県 飯塚小学校教諭 飯塚市通級指導教室担当 杉本 陽子氏 昨年度受講した方はご遠慮ください。1校につき3名までの受講です。	通常学級に在籍する「数の概念がつかみにくい子」「計算が苦手な子」「意味の理解が苦手な子」など、数につまずきのある子どもの困難の背景に応じた指導方法や支援教具について、講義と演習を通して学ぶ。
2	知的障がいや発達障がいのある子どもたちへの ICTを活用した支援・授業(特支校)	8月18日(火)	福井県 教育総合研究所	香川大学 教授 坂井 聡氏	知的障がいや発達障がいのある子どもたちをサポートする機器やグッズをどのように取り入れたらよいかについて学ぶ。また、障がいのある人とのコミュニケーションについて押さえるべき視点についても学ぶ。
3	高校通級の取組	8月19日(水) PM	福井県特別支援 教育センター	県内教員による実践報告 高校教育課指導主事	平成30年度から実施されている県内の高等学校における通級について、実際に取組を行っている高等学校と指導に携わっている特別支援学校の教員双方の実践報告から学ぶ。
4	特別支援学級・通級指導教室での取組 —校内での連携を意識した学級経営のあり方—	8月21日(金) PM	福井県立図書館	県内教員による実践報告 高校教育課指導主事	小・中学校の特別支援学級や通級指導教室における指導の実際や学級経営の工夫点について紹介。また、校内での連携を意識した取り組みについて考える。

特別支援教育の専門性を高めましょう

5	校内におけるより良い就学支援のあり方 —支援の見立てと就学の相談の進め方— ライブ配信の講座	5月14日(木) PM	福井県特別支援 教育センター	福井県特別支援教育 センター所員	就学の手続きや流れに関する基礎知識、学びの場の変更が考えられる子どもに対する支援の見立て、校内での具体的な進め方等について演習を通して学ぶ。就学事務担当者の方にもおすすめ。
6	特別支援教育の視点から校内体制を考える —教育支援専門員としての学校訪問から—	5月19日(火) PM	福井県立大学 交流センター	元教育支援専門員 元麻生津小学校長 石井 喜和氏	平成29年度から3年間かけて、福井県内すべての小中学校を対象に行った「教育支援専門員による学校訪問」で見えてきた課題を整理し、特別支援教育の視点を取り入れた学校経営について学ぶ。
7	思春期・青年期における支援 —SNSとの関係をふまえて— 定員100名	6月29日(月) PM	福井県立 看護専門学校	島根大学 教授 岩宮 恵子氏	思春期とはどういう時期なのか、現代の思春期の子どもたちを取り巻く環境について学ぶとともに、事例を通して思春期の子どもたちの人間関係におけるストレスやSNSのトラブルや支援のあり方について考える。
8	福祉と園・学校との連携 ※幼児教育支援センターとの連携講座	7月22日(水) PM	福井県立図書館	平谷こども発達クリニック 大野市児童デイサービスセンター 所長 松村 千里氏	学校と福祉の双方の現場を経験した講師の経験から、園・学校、福祉のそれぞれが果たすべき役割は何かを知る。またその上で、園・学校と福祉がどのように連携していけばよいかについて、実際の事例を通して学ぶ。
9	発達障がいのある子どもの将来について、 保護者と共に考えていくために	8月3日(月)	福井県立 看護専門学校	(株)Ka i e n 代表取締役 鈴木 慶太氏	発達障がいのある人たちの就労移行支援のポイントについて知り、育みたい力について考える。また、当事者の保護者の方の体験談から、保護者の心情に配慮し、共に支援を考えていくための関係づくりについて学ぶ。
10	特別支援学校における教材開発と実践 —個に応じた教材・教具の検討—	8月5日(水)	福井大学 教育学部附属 特別支援学校	福井大学教育学部附属 特別支援学校 教員	附属特別支援学校の作業学習や体づくり運動の実践などについて学ぶ。また、教材製作を通して、子どもたちの障がいの状態および能力、特性に応じた教材・教具をグループ協議形式で考える。
11	発達しょうがいの理解とコミュニケーション支援 ※幼児教育支援センターとの連携講座	8月6日(木)	福井市 きらら館	フリーランス児童精神科医 門 眞一郎氏	自閉スペクトラム症など発達しょうがいのある児童・生徒の特性やかわり方、有効な教材など支援の基本について学ぶ。午前は、知的しょうがいのあるケース、午後は、知的しょうがいのないケースについて事例を通して学ぶ。
12	読み書きの苦手さへの支援と合理的配慮 —読み書きのアセスメントと当事者からのメッセージ—	8月7日(金)	福井県 教育総合研究所	岐阜市立島小学校 主幹教諭 神山 忠氏 福井県特別支援教育センター 所員	午前中は、「読み」や「書き」に苦手さがある子どもたちに対するアセスメントや支援方法について知る。午後は、ディスレクシアの当事者の方より、読み書きの苦手さからくる生きづらさやそこから生まれた工夫、合理的配慮について学ぶ。
13	視覚障がい理解のための基礎知識 —見えにくい子どもへの理解と支援—	8月20日(木)	福井県立 盲学校	福井県立盲学校 教員	見えにくくても適切な配慮や支援により通常学級の子どもたちと同じように学ぶことができる。盲学校における見えにくさのある子どもたちへの教育的支援について紹介するとともに、具体的な教材や試験問題作成上の配慮と教材提示の方法、移動(歩行)支援の体験を通して、見えにくさのある子どもへの学習支援や生活支援について学ぶ。

※会場については変更する場合がありますので、必ず実施要項で確認して下さい。
また会場の駐車スペースには限りがあります。
お越しの際は、複数人での乗り合わせをお願いします。



ホームページへの
アクセスはこちら

福井県特別支援教育センター

ライブ配信の講座 …会場での講義をライブ配信し、嶺南教育事務所の研修室でスクリーンを見て受講することができます。
No.5の講座は、嶺南教育事務所で受講する際も特別支援教育センターに申し込んでください。(備考欄に「嶺南受講」と記入)
回線機器などの不具合により音声や画像の見づらさが生じたり、やむを得ず途中で中止する場合がありますので、ご了承ください。

〒910-0846 福井県福井市四ツ井2丁目8番1号
TEL : 0776-53-6574 FAX : 0776-52-6272
URL <http://www.fukuisec.ed.jp>
E-mail tokuse01@pref.fukui.lg.jp (研修講座専用)

No.1 杉本 陽子 (すぎもと ようこ) 氏

福岡県飯塚市立飯塚小学校教諭 飯塚市通級指導教室担当

飯塚市発達支援アドバイザー、MIMコーディネーター、特別支援教育士、小学校の通常学級担任、特別支援学級担任を経て、平成19年度から飯塚市LD・ADHD通級指導教室を担当。主な著書に、「特別支援教育はじめのいっぽ!算数のじかん」「なにがちがうの?LD(学習障害)の子の見え方・感じ方」(ミネルヴァ書房)など。

No.2 坂井 聡 (さかい さとし) 氏

香川大学 教育学部 教授

自閉症スペクトラム支援士エキスパート、特別支援教育スーパーバイザー、言語聴覚士、公認心理師。専門は障がい児の教育方法や支援技術。主な著書:「知的障害や発達障害のある人とのコミュニケーションのトリセツ」(エンパワメント研究所)「発達障害のある子の学びを深める教材・教具・ICTの教室活用アイデア」(共著:明治図書)

No.6 石井 喜和 (いしい よしかず) 氏

元教育支援専門員 元麻生津小学校長

県内の小・中学校で教鞭をとった後、福井県教育委員会管理主事、福井市内の小中学校教頭、福井大学教育学部附属特別支援学校の副校長を経て、福井市内の小中学校校長を歴任され、平成29年度より3年間、教育支援専門員として県内の小中学校を訪問した。

No.7 岩宮 恵子 (いわみや けいこ) 氏

島根大学 人間科学部 教授

臨床心理士、公認心理師。現在、島根大学人間科学部心理学コース教授。島根大学こころとそだちの相談センター長。スクールカウンセラーとしても学校にも関わっている。主な著書:「生きにくい子どもたちーカウンセリングの日誌からー」(岩波現代文庫)「フツーの子の思春期ー心理療法の現場からー」(岩波書店)「好きなにはワケがあるー宮崎アニメと思春期のこころ」(筑摩書房)他

No.8 松村 千里 (まつむら ちさと) 氏

平谷こども発達クリニック 大野市児童デイサービスセンター 所長

福井県特別支援教育センター指導主事を経て、奥越地区の特別支援学級の担任として様々な児童・生徒の指導に当たりながら、特別支援教育の推進に努める。現在、平谷こども発達クリニックに勤務し、大野市児童デイサービスセンター所長。

No.9 鈴木 慶太 (すずき けいた) 氏

Kaiken(株) 代表取締役

前職がNHKアナウンサーで、ご自身の息子さんが3歳の時に発達障がいの診断を受けた。現在は発達障がいがある人に対象を限定して、就労移行支援サービスを提供している株式会社Kaikenの代表取締役を務めている。

No.11 門 眞一郎 (かど しんいちろう) 氏

フリーランス児童精神科医

元京都市児童福祉センター副院長、現在はフリーランス児童精神科医。PECS(絵カード交換式コミュニケーションシステム)やコミック会話を日本に紹介し、実践に生かしている第一人者。主な訳書:「自閉症スペクトラムとコミュニケーション-理解コミュニケーションの視覚的支援-」(リンダ・ホンジン著, 星和書店刊)など。

No.12 神山 忠 (こうやま ただし) 氏

岐阜市立島小 主幹教諭

印刷物に書かれた文字を読むことに困難があるディスレクシア(プリントディスアビリティ)があり、学齢期には不登校を経験したが、後に、口頭と実物操作で学ぶスタイルを身に付けた。障がいによって生き辛さを抱える子どもたちの視点に立ち、全国で講演を行っている。

『特別支援教育実践研修』は、園や学校において特別支援教育を担う特別支援教育コーディネーターや特別支援学級担任、通級指導担当者、特別支援学校教員を対象に、その専門性を高めていただくために、年間を通してシリーズで行う研修です。研修を修了された方には、当センターより修了証書をお渡しします。

対象校種: 幼・小・中・高・特支校

各研修の詳細ならびに研修申し込み方法については、各学校に送付される実施要項をご覧ください。

特別支援教育コーディネーターの基礎を学びたい!

特別支援教育コーディネーター養成研修

- 初めてコーディネーターに指名された方へ!
- 校内でコーディネーター的な動きをされる立場の方へ!

<研修対象者および定員>

今年度、初めて特別支援教育コーディネーターに指名された方(以前から指名されているが、これまでに養成研修等を受講していない方も含む)

- 定員...50名
- 研修回数...講義等3回+校内研修(特支校は体験実習)

特別支援教育コーディネーターに必要な基礎的知識や技能を身につけます。所属校における研修者の実践を、当センター所属員・嶺南教育事務所課員がサポートします。

学校ぐるみで特別支援教育の専門性を高めたい!

特別支援教育コーディネーター専門研修

- コーディネーターとしてステップアップを目指す方へ!
- 特別支援教育の推進を考える園・学校に!

<研修対象者および定員>

特別支援教育コーディネーターとしての実務経験があり、今年度、所属園・校において特別支援教育コーディネーターに指名されている方

- 定員...5名
- 研修回数...講義・研究協議等5回+推奨研修

所属校の実情に合わせて、園や学校ぐるみで特別支援教育の体制づくりに取り組む実践研修です。所属校での実践を研修会で振り返りながら進めます。外部講師による学校訪問や助言を受けることができます。

授業研究リーダー研修

- 研究リーダーとして、特別支援教育の授業づくりを推進する方へ!
- 授業研究を中心とした校内研究体制を充実させたい園・学校に!
- 地区の特別支援教育部会のリーダーとして、研究を推進する方へ!

<研修対象者および定員>

園や学校の教員で、校内で授業研究を進める立場の方(今後その立場になる方)

- 定員...5名
- 研修回数...講義・研究協議等5回+推奨研修

子どもが主体的に学ぶ授業や授業研究会の運営について考える実践研修です。所属園・校や研究会での実践を研修会で振り返りながら進めます。外部講師による学校訪問や助言を受けることができます。

※ 特別支援教育コーディネーター専門研修と授業研究リーダー研修は、福井大学連合教職大学院と連携して開催する研修です。

その他

欠席届について

- ・受講者がやむを得ない理由で欠席する場合は、事前に所属長から届け出てください。
- ・欠席届も、申し込みと同様の経路で提出してください。
- ・欠席届は、当センターホームページにあります。ダウンロードしてお使いください。

実施要項について

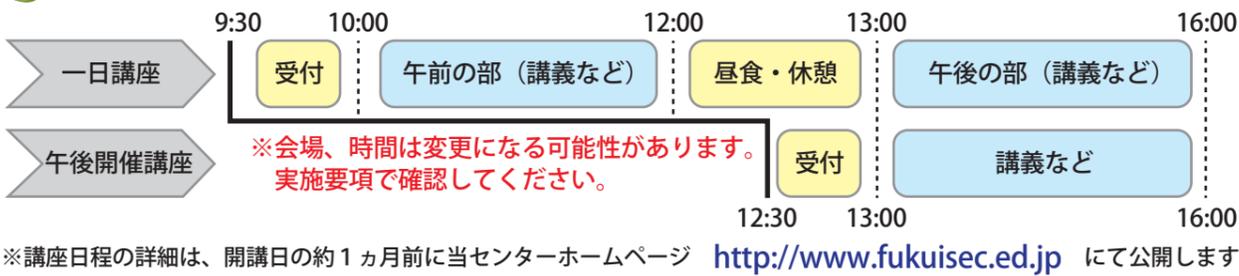
- ・講座の実施要項は、開催の約1ヶ月前に、当センターホームページ上で公開します。
- ・変更の連絡は当センターホームページ上で行います。参加前に必ず当センターホームページおよび各「研修講座の実施要項」をご確認ください。

開催有無の連絡について

- ・自然災害等で研修講座の開催が危ぶまれる場合、開催の有無について前日に当センターホームページに掲載します。必ずご確認ください。



研修講座の日程



受講の手続き

幼稚園
保育所(園)
認定こども園
小学校
中学校
高等学校
特別支援学校
関係機関

- ① 申込用紙(Excelファイル)を当センターホームページからダウンロード
 - ② 申込用紙に必要事項を記入し、所属長の承認を受ける
 - ③ E-Mail (tokuse01@pref.fukui.lg.jp) に申込用紙を添付して送信
- ※E-Mail が使用できない場合は、電話でお問い合わせください。

特別支援教育センター



ホームページへのアクセスはこちら

直接申込

申し込みについての留意点

- ・各学校(所属)でとりまとめの上、お申し込みください。追加・訂正で再送の場合は、そのように記述願います。
- ・申し込み人数が会場の定員に達しましたら、期日前に受付を締め切らせていただきます。予めご了承ください。
- ・ライブ配信No.5の講座は、嶺南教育事務所を受講する際も、当センターにお申し込みください。(備考欄に「嶺南受講」と記入)

申込は4月3日より受け付けます

受講申込 締切日

締切日を厳守して下さい!

5月7日(木) No.5 No.6 No.7
7月6日(月) No.1 No.2 No.3 No.4
No.8 No.9 No.10 No.11
No.12 No.13

連絡・問合せ先

福井県特別支援教育センター

〒910-0846 福井県福井市四ツ井2丁目8番1号
TEL 0776-53-6574 FAX 0776-52-6272
URL <http://www.fukuisec.ed.jp> E-mail tokuse01@pref.fukui.lg.jp(研修講座専用)